

近畿中国局フォレスターNEWS



地域林政連絡会議

県と地域林政連絡会議を開催（兵庫県）

兵庫森林管理署と兵庫県は、7月22日に兵庫県庁で地域林政連絡会議を開催しました。（森林管理局から次長が出席）

意見交換会の議題は、県の主要課題や双方が関心のあるものとして、①木質バイオマス発電と木材供給体制、②国有林の素材生産計画、③低コストを目指した皆伐・再造林、④シカ被害対策、⑤都市近郊林の管理における危険木伐採の年間包括協議、⑥県内の森林経営計画の進行状況を取り上げて議論を行いました。

シカ被害対策については、兵庫署から、シカ被害による新植地の改植状況の事例と今までの様々な防護対策を紹介したうえで、国有林にシカ防護柵見本林を設定し、今年度も新たな防護柵の設置を行うことを説明しました。

兵庫県からは、獣害対策に中心的な役割を果たしている兵庫県森林動物研究センターから、シカ被害の推移、シカ捕獲目標数を平成25年度から3万5千頭（旧計画：3万1千5百頭）に引き上げた経緯、地域住民の方と連携したシカ捕獲体制強化の取組等について紹介があり、県全体としては、ようやく被害が減少傾向になりつつあるものの、地域間の捕獲数のばらつきが大きく、被害は依然として甚大であることから、今年度も3万5千頭の捕獲目標を継続する旨の説明がありました。

森林経営計画の進行状況については、西播磨地区で、素材生産業者や木材流通業者が、山林所有者の委託を受けて森林経営計画を作成するという、県内でも先進的な取組事例について情報提供がありました。

兵庫署は、兵庫県との情報交換を今後も継続し、民国連携した取組を進める予定です。

県フォレスター等と連携した活動（広島県）

広島県、広島北部森林管理署、広島森林管理署のフォレスター等が連携して、今年度計画を樹立する神石高原町森林整備計画（高梁川上流森林計画区）の策定支援を行っています。

（当ニュース6月号を参照ください。）

7月29日には、神石高原町役場において、県・町の担当者及び地元森林組合も加わった第3回目の打合せを行いました。

当地域の森林・林業の特徴としては、人工林は小規模零細な所有形態が多く、地域の木材生産を考えるうえで、小規模分散型の森林を集約化する取組の必要があります。そのため、民有林と国有林が一体となって取り組む森林共同施業団地など、国有林の木材生産計画と連携した集約化施業が可能な箇所がないかなどの検討を行いました。

また、民有林における伐採及び伐採後の造林の届出制度を円滑に運用するための方策についても検討を行いました。

引き続き、神石高原町森林整備計画樹立に向けて、県、町、森林組合等と連携を図りながら、地域の効率的な木材生産を考えるべく、国有林で開設した林業専用道の視察や森林共同施業団地の候補地等について、現地検討を行う予定です。



県、町、森林組合との打合せ

林野庁
近畿中国森林管理局
技術普及課



TEL: 06-6881-3524 FAX: 06-6881-2055
URL: <http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>
〒530-0042 大阪市北区天満橋1丁目8-75

編集後記

今年は例年に比べて猛暑日の多い年ではないでしょうか。熱中症で救急搬送された方も、かなりの数に上ったようです。暑さ対策・夏バテ対策をされて、健康に注意していただきますようお願いいたします。

また、毎号のことですが、国有林はもとより民有林担当者の方から情報提供いただき、各地域での取組に関する情報共有に努めたいと思いますので、よろしくお願いたします。